

# 以心深

いしんでんしん

妙高さんの恋人



「おん」  
妙高さん

R-18

# 以心沉深

いんてん  
妙高さんの恋人



いんてん  
R-18



白檀の香りがする  
女性だった。

当時の彼女は  
父の秘書艦で

僕のお守りを  
よくしてくれて  
いたものだ。

俗な言い方をすれば  
其れは初恋だった  
のであろう。

僕は拙い言葉で  
彼女に思いを  
伝えると、

其の度に彼女は  
笑って  
応えるのだ。

まあ、嬉しい。  
家族にして  
頂けるのですね

お父様の様に  
成るのを待ちして  
おりますね。



昔も昔、  
恐竜が歩いていて  
ぐらいた昔。  
5年も前だ。

彼女はよく  
役宅に来ては父らと  
難しい話をしていた。

世間がきな臭く  
なっていた  
時代であった。

上層部の楽観的で  
野放図な軍議をまとめ  
現実的なラインに  
落とし込む。


そういう仕事を  
やっていた。

話はわからなかったが、  
子供だった僕には  
彼女が家に来るだけで  
胸が高鳴ったものだ。

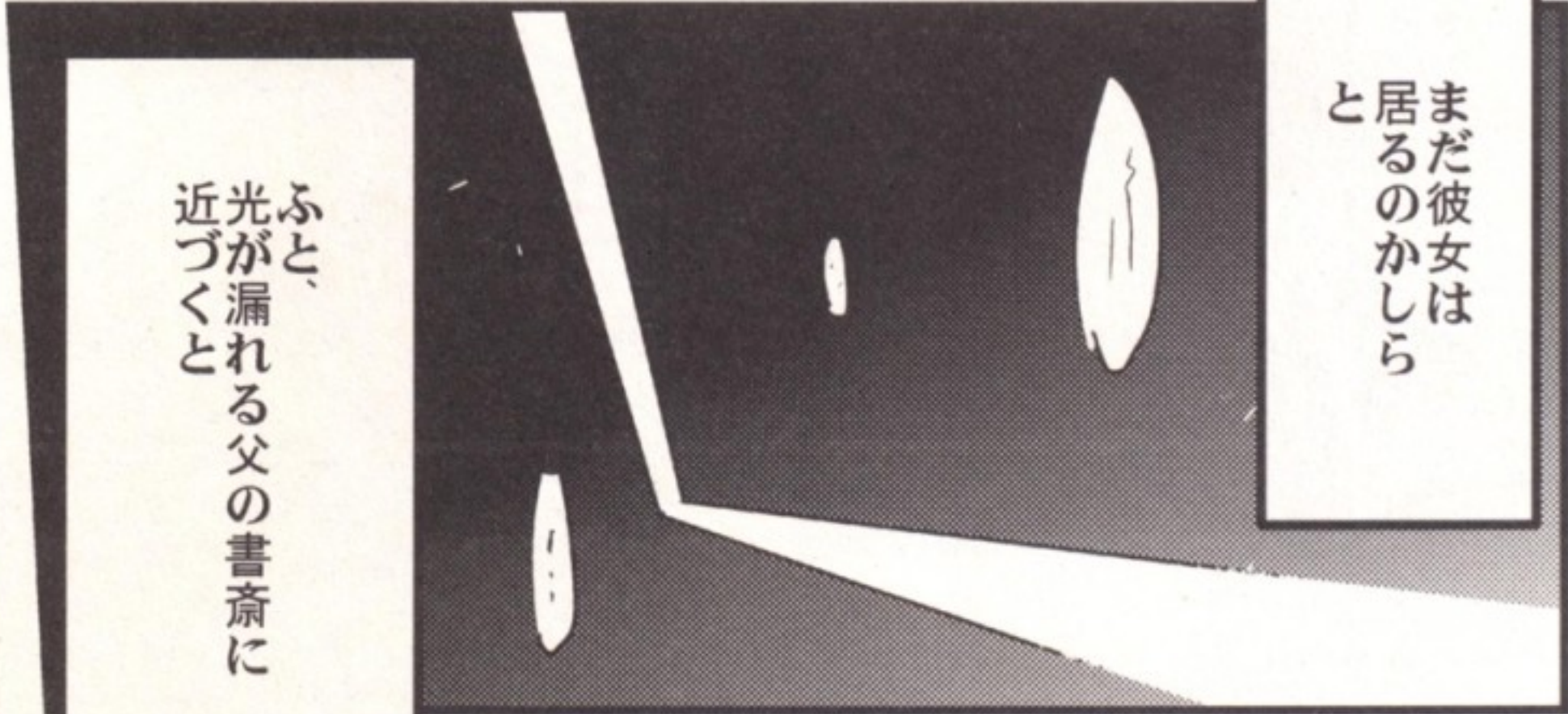
僕がうとうとと  
寝てしまうと  
彼女が寝所まで  
運んでくれた。

母の顔を  
終ぞ見た事のない  
僕にとっては


彼女は神聖視すべき、  
女神であり母親であり  
教師であった。




蒸し暑いある夜、  
僕は目が覚めて  
厠へ向かった。



まだ彼女は  
居るのかしら  
と



ふと、  
光が漏れる父の書齋に  
近づくと



扉の隙間から  
中を覗き見た。

子供だった僕には  
何をしているのか

最初は  
わからなかったが

直に、

本能が、

察した。

今でも  
夢に見る光景。



理性的で  
在った筈の父が  
声を荒げ、  
彼女の尻を叩く。

理性的で  
在った筈の彼女が  
頭を振り  
叫んでいる。

禁忌に  
触れている事を  
強く感じさせる  
光景であったが

提督っ♡  
出してっ♡

僕は、小さい自分を  
硬くさせ  
ずうつと見入っていた。

貴方の物にしてえっ…♡

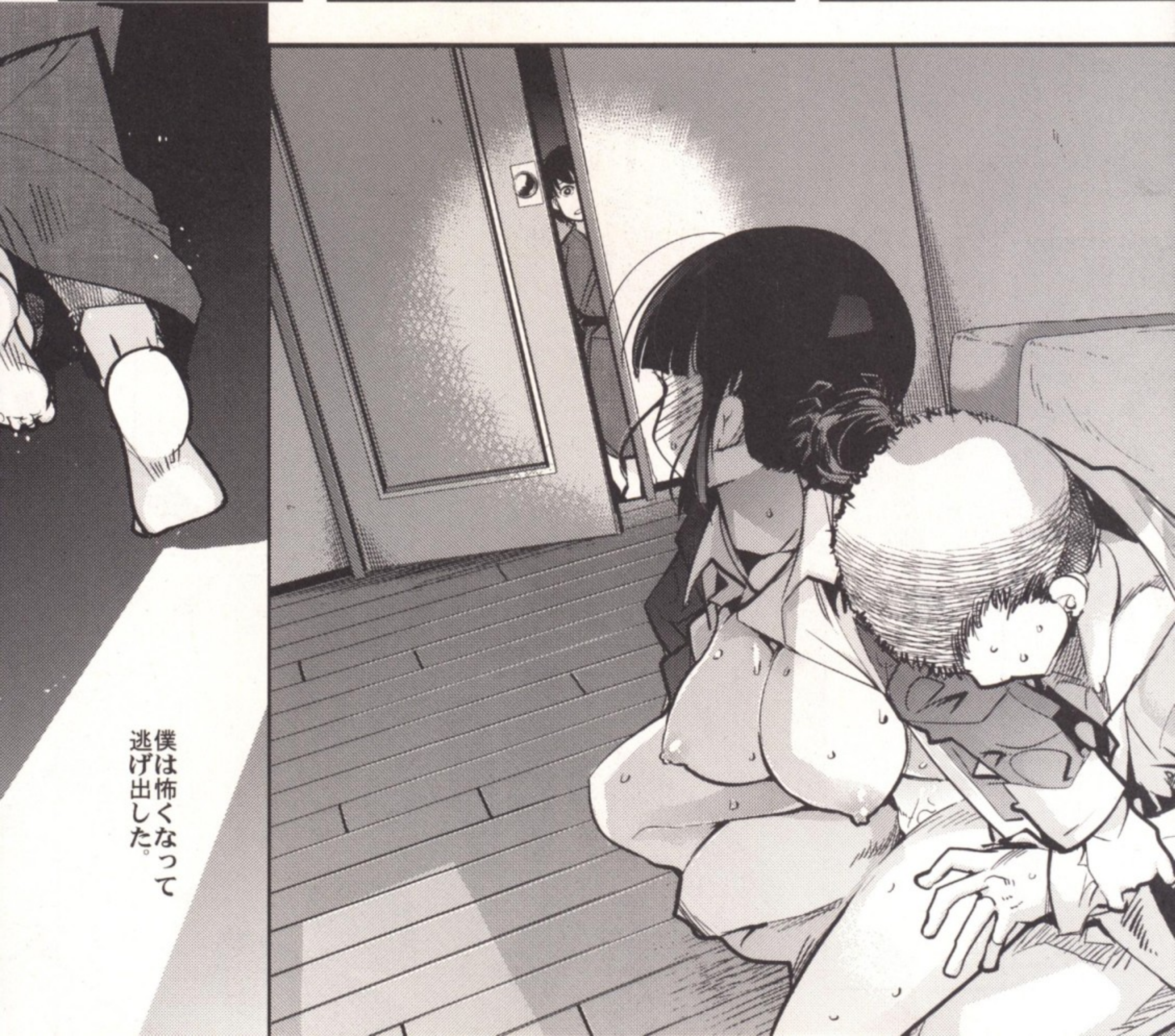




今まで僕が  
見た事のない  
女の顔をしていて



彼女の顔は



僕は怖くなって  
逃げ出した。

その後

父は、日本が  
近海まで押し込まれる  
羽目になった  
原因である

歴史的な敗戦を喫した  
一大海戦で  
ものついでのように  
亡くなり、

僕は  
特別若年養成  
士官学校へ進む。

彼女に会えたのは  
任官一年目の春、

# 以心電探 高さん の恋人



巡り合せと言う物が  
あるのだろう、

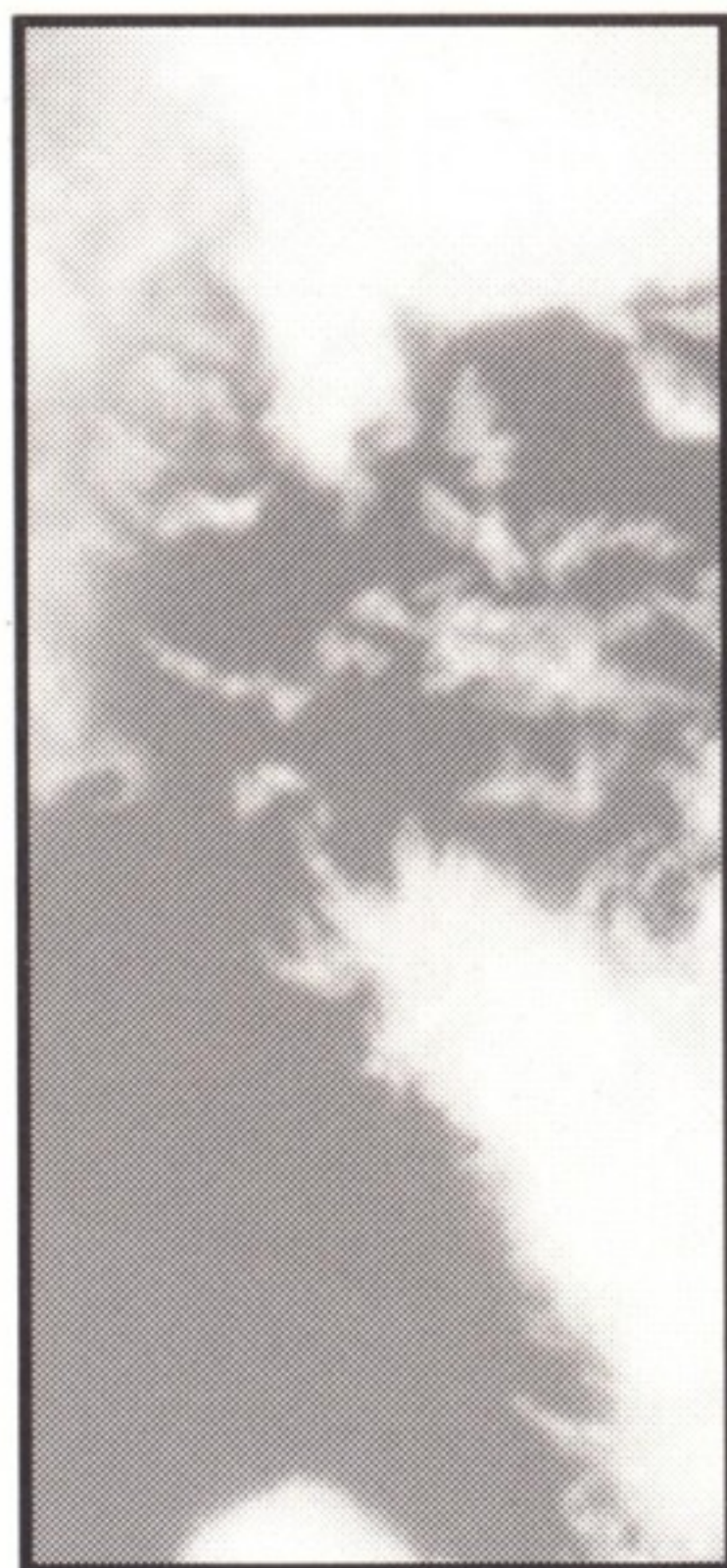
あの日から  
変わらぬ容姿と  
白檀の香りは

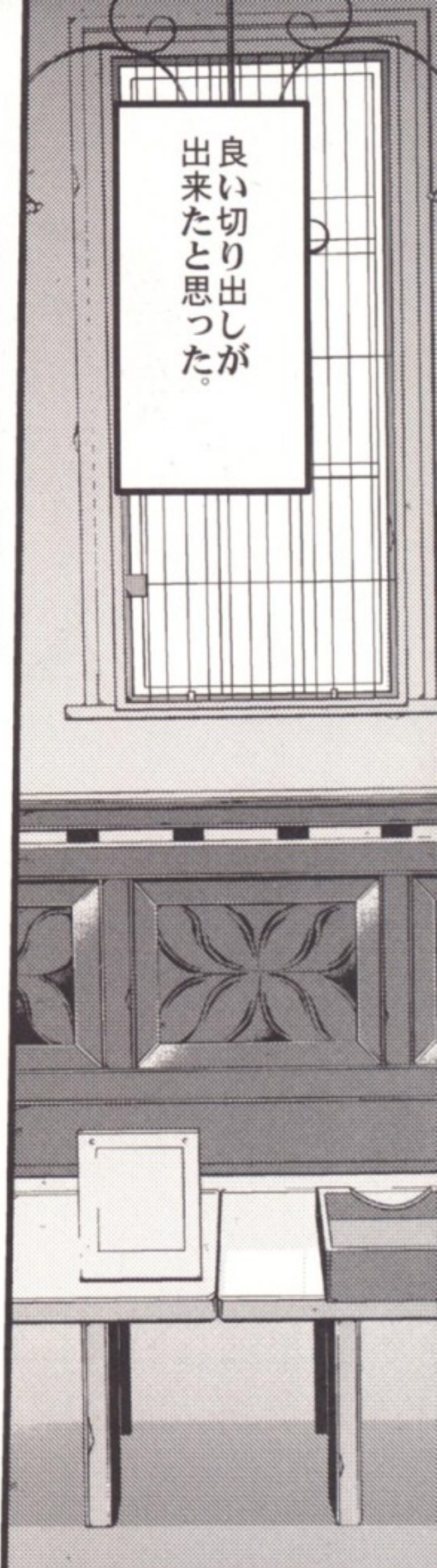
僕に  
否が応にも過去を  
思い出させる。



秘書艦付きとして  
世話をして貰う  
事になった。








良い切り出しが  
出来たと思っただ。

新任である僕に  
様々な任務の助言を  
与えて呉れる彼女は

聡く沈着で  
新しい顔を  
見せて呉れた。



矢張り、  
あの夜の彼女は  
夢だったのかも  
知れない

そう思える  
迄になっていた。



提督は

此方は  
済ませました？

白檀を  
掻き分けるように  
漂う

はい？

いけませんね、  
免疫がないと  
こういう職場  
では…

濃い女の  
香り。

僭越ながら、  
私が…手解きを  
いたします

僕はアツと言う間に  
前後不覚に為り、

ああ…

あああつ

**ははは**

妙高さん…？

夢中で腰を  
振っていた。



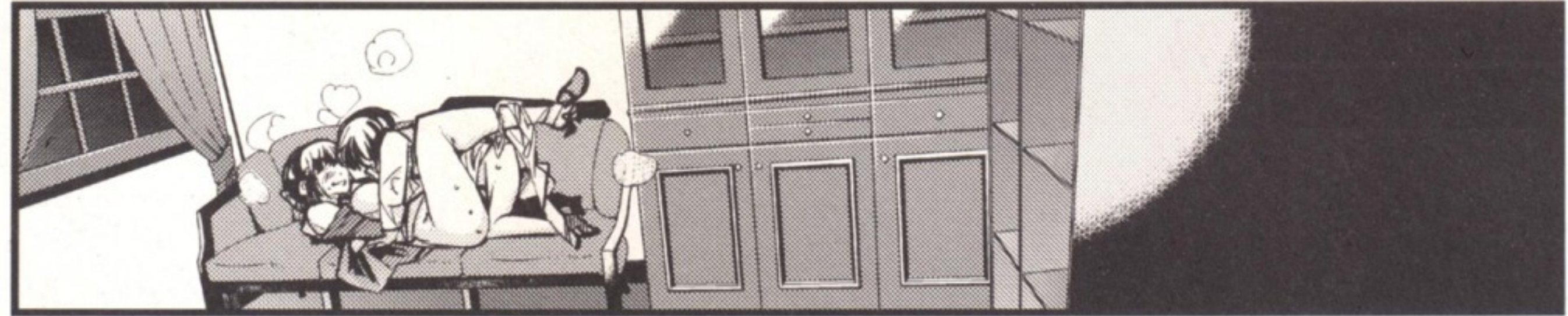
妙高さんっ……!

なんか  
出ますっ  
おれっ!

中にッ……!

あ  
あ

こうして  
新しい関係が  
始まった。



妙高…さんっ  
僕もうっ……!

彼女は閨でも  
先生のようなだった



僕に与えて、  
吸い尽くす。



未知の快感を  
次から次へと

んほ  
っ

あは  
っ

あは  
っ

あは  
っ

あは  
っ

あは  
っ



ああ、  
妙高さんっ…

顔、  
汚しちゃって、  
僕…

は♡

構いませんで  
私さっせ♡

は♡  
は♡

は♡



私のは何方でも  
構いませんで  
どう動けば  
良いかは…ね？

この後は  
どうすべきか  
教えた通りに  
出来ませぬ

お♡

は♡

は♡

は♡





あんなに胸が大きい  
おっぱい...  
おっぱい...

妙高さん...  
妙高さん...!

おっぱい...  
おっぱい...

おっぱい...

繋がっていたい...!

おっぱい...

おっぱい...

おっぱい...  
おっぱい...

好きだよ妙高さん、  
子供の時から、  
こうやってずっと...

おっぱい...

おっぱい...  
おっぱい...

おっぱい...



良いわ♡

わかっている

彼女が  
見ている姿は

中に  
出してえっ♡

無茶苦茶に  
暴れてっ♡

アイっ♡

ぬっ

ぬっ

ぬっ

僕の後ろの  
父親だ

提督♡

あなたの物いこみ……!



事後、  
改めて彼女に  
想いを伝えると  
静かに笑って

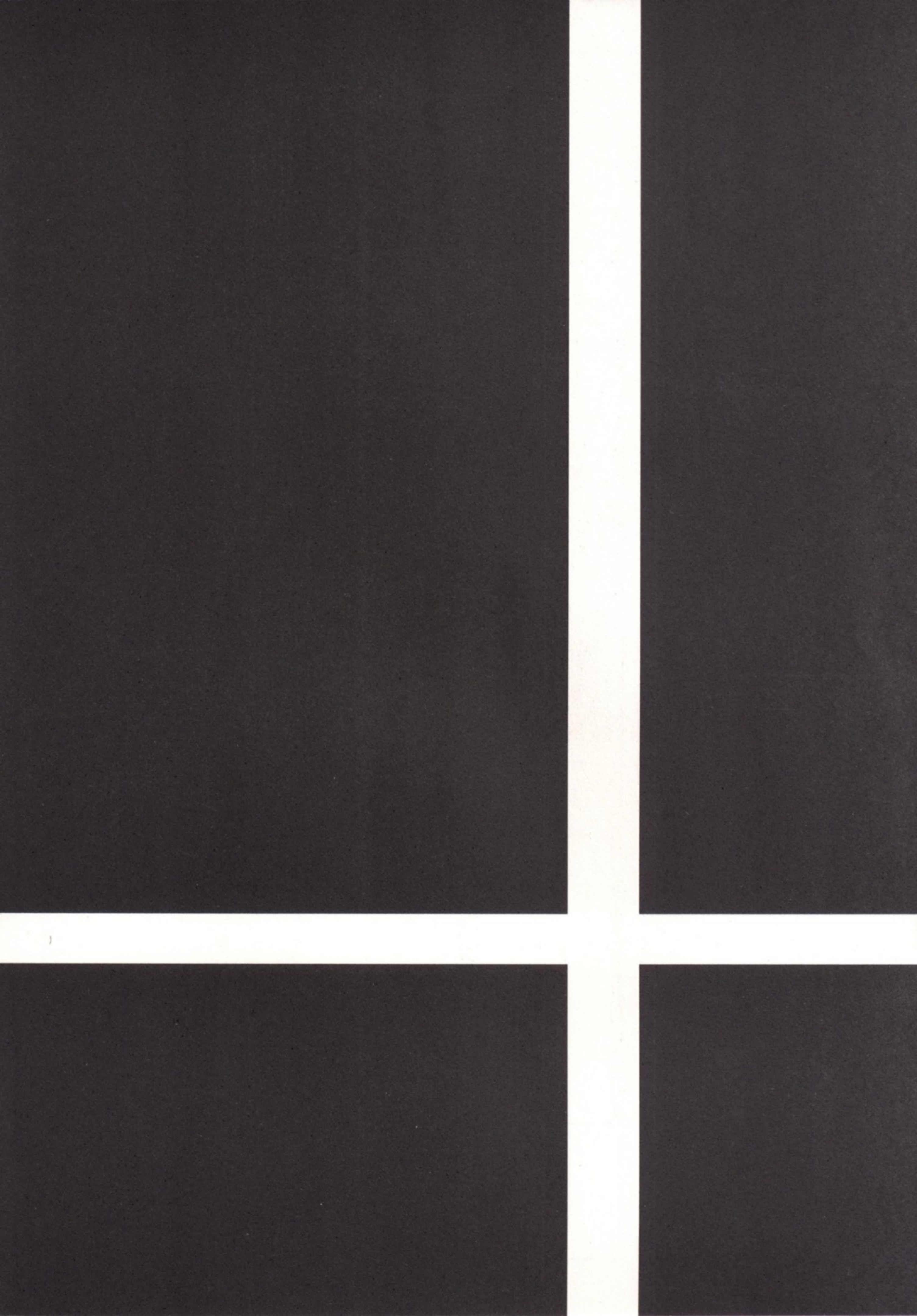
私も提督の事を  
お慕いして  
おります

と応える。

しかし、  
裸の彼女の指に光るのは  
父が送った指輪だ。

二人で浴びた  
シャワーは

汗と白檀の香りを  
排水口へと流していった。



妙高さんと一緒に出来る  
いいちばん気持ちいい  
セックスの本



ブロンコ二人旅  
未成年購入閲覧禁止

アハ

アハ

アハ

アハ

妙高さんから夜の  
難しいお話の内容に  
ロールプレイを  
加えようという  
提案があった。

19日...  
何となく...  
妙高さん...  
お話を...  
ロールプレイ...  
加えよう...  
提案...  
妙高...  
お話を...  
ロールプレイ...  
加えよう...  
提案...

書類が届いたので  
内容を見てみると

提督↓鬼畜どS提督  
妙高↓悪漢提督に  
脅されて仕方なく  
体を差し出しているうちに  
快感に目覚めてしまう令嬢  
と書いてあった。

あの、妙高さん  
なにこれ？  
ああっ！  
今夜も私の体を食べる  
つもりなのですか...!

あの...もう  
始まって？  
まだ何も知らなかった  
私の体に男の味を  
覚えさせた挙句

はしたない事を進んで  
させようだなんて...!  
こんな恥ぢかしい  
格好...はあはあ  
年甲斐も無かつ  
はあっ...♡提督の命令で  
仕方なくッ...♡  
わわわわわ  
まだ勤務時間  
ですよ!?

はっ

勤務時間中に  
皆に見られるかも  
しれないのに  
こんな格好で  
来いだなんて

えっこここ口淫？  
まだ私を  
辱めようってっ！

言っていないよ！  
言っていないよ！

ああ…  
何て事だ  
妙高さんは眉毛太くて  
陰毛が濃くて性欲強いのを  
隠すためにあえて  
ロールプレイという  
体を取っているのだ

一流の提督なら  
それに気付いてやれ俺！  
ここで俺が成すべきことは…

**エロゲ鬼畜超弩級  
S提督になる事だ!!**

ふふふ、妙高  
俺のチンポの味は  
美味しいか？

んもっ♡

ぢゅるるっ♡

いや、  
美味しいか？

美味しいかって  
聞いてるんだよオイ!!  
何夢中になるほどのなの!?

ぢゅるるっ♡

くそっ!  
なんて下品な  
フェラ顔なんだ!  
これがあの  
妙高さんなのか!?

んっ♡

んっ♡



んっ♡

はっ♡  
はっ♡  
はっ♡

ふああっ♡  
提督の男根がっ♡

私を置いて、  
理性をどろどろに  
溶かしてしまうっ♡

妙高さんの  
体から湧き出る  
すごい雌臭い匂いが  
俺を…!!

一匹の雄にするッ!

うおおおッ!!

私、ただの女に  
獣になっちゃらうッ♡

なっ♡

ダメッ…  
それ以上動かれたら  
私ッ…わたしッ♡

きゃん♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡



けだものにイッ♡  
なああ♡はあ♡

ちよつと妙高……！  
妙高さん  
ケダモノになりすぎ！

おおお  
おオツ♡

ちんぽっ♡  
あきつ♡

ふんふん♡  
うんうん♡

けもの♡

はあはあ♡  
あはあ♡

けもの♡  
アツクッ



おっだ、  
大丈夫ですか？

アッ

ほんごい♡

んはあ♡  
ほんごい♡



うわっ……

んふん♡

そんなに  
動いちゃッ！  
もおおっ！



はあ♡  
はあ♡

ちあわくこぶ...♡



...あの、  
言っておきますけど  
全部ロールプレイ  
ですからね

女一任  
任ちあります。

...あはあ...

お伊勢さんとムワムワ  
黒インナーファック。

献身的な  
お掃除フェラも

くおせい

つまり今は  
航空戦艦の時代と  
言う事だ！

めほめほ  
めほめほ  
めほめほ



高雄さんとする  
セックスの本も  
描きたいですね



高雄さんの恋人は中年のおじ様です。  
部屋に入った途端に乱暴に  
組み敷かれた瞬間から高雄さんの  
下着はまるで湧水が沸いたみたい  
びしょびしょになります。

うっとりとおじさまのちんぽを舐める  
高雄さんは普段の清楚なイメージとは  
かけ離れて情欲をそそります。

元々は  
青年将校と清いお付き合いを  
していた高雄さんでしたが、  
おじ様に見初められてからは  
すっかり染められてしまいました。

美しいドイツの詩を諳んじていた  
その唇が、性器が入ってくる感覚に  
打ち震え、卑猥な言葉を吐き出します。  
その白く柔らかな肌が、全身が、  
精液と愛液と汗が混じりあつた  
白濁とした液体でじつとりとぬめります。  
彼女は蛙のような声を上げて  
絶頂しました。



よりを戻そうとする青年将校に  
向かって自分は誰の所有物なのか、  
その心は何処に向いているのか、  
体は同開発されたのかを  
動画越しに丹念に説明する高雄さん。  
最早青年の知っている高雄さんは  
消え去り、画面に映るのは  
一匹の発情した動物でした。

ハッハッハッ

ハッハッハッ



内々けやきで一す 今回は妙高さん本になります！

艦これアニメはじまりましたね！やった！みんな見てる！？  
…とは言え僕はなんか気恥ずかしくてまだ見てないんですけど。

気恥ずかしいって言うのはアレですね、  
今までゲーム上での限られた情報や生活や戦闘なんかを  
個人個人が想像でカバーしたり盛り上げたりしてた所を  
公式でカッチリ固めて来られた時に、その固まり具合が  
我々の、僕の私のイメージと離れていた場合どういう顔していいのか  
わかんなくなっちゃったりしないかとか、そういう所ですね。

何分ユーザーの多いゲームで御座いますので  
ガチ戦争物とか、キャラ押し物とか、  
どういうジャンルに寄せるとか、分母の大きい部分になるかとは思いますが、  
その中に僕の好みの部分がいっているのかとか考えると  
何だか入り切れないような感じがするんですよ。  
でもそのうち見るよ大丈夫大丈夫勿論僕の好きなキャラは  
ガシガシ活躍しているんだよね！

妙高さんは最初ゲーム弄り始めた時から好きだったんですが、  
当時は何か検索すると大破絵で弄られててショックでした。  
俺の可愛い妙高さんに何てことしやがる！！とか思っていました。  
改二でもっとマイルドな感じになったのでファンが増えてたらうれしいです。  
僕の考える妙高さんはお姉さんなんですけどメチャ重なんですよ！  
具体的にいうと空気が読める故に都合の良い愛人枠に収まっちゃってるタイプだけど  
何か事があると理性より感情が爆発して止まらない感じの陰毛が濃い女性。  
そういえばピクシブで妙高さんの陰毛絵を見た時に痺れたなー  
あんな眉毛してたらポーポーで間違いなしだよな。

そんな感じでみんなも妙高さんを可愛がりましょう！

発行日 15/2/8

発行 ブロンコー人旅  
内々けやき

印刷 ユニプリント様  
ご意見ご感想連絡先は

<http://keyaki0202.sblo.jp/>

<mailto:keyaki0002-work@yahoo.co.jp>



以心深  
いしんでんしん  
妙高さんの恋人  
電

ニッポン  
R-18